

## 平成21年度 クラミジア抗体検査のまとめ

近年、特に若年者の間でAIDSやクラミジアなどの性感染症が増加しており、その予防啓発の一環として平成13年度よりHIV検査と合わせてクラミジア・トラコマチス抗体について無料匿名検査を実施しています。平成21年度は7か所の福祉保健センターとAIDS市民活動センターで週1回行っている夜間健診、結核予防会で行っている土曜健診の計9か所で採取された血清を試料とし、ペプタイドクラミジアIgA及びIgG(明治乳業製)を用いて検査を実施しました。

平成18年度から平成21年度までのクラミジア抗体検査受診者数と陽性者数、陽性率を表1に示しました。平成19年度は過去最高の受診者がありました、その後減少傾向にあります。

表1 平成18年度～平成21年度の受診者数と陽性者数と陽性率

年度	受診者数(人)	陽性者数(人)*	陽性率(%)
平成18年度	2117	713	33.7
平成19年度	2411	756	31.4
平成20年度	2198	683	31.1
平成21年度	1964	608	31.0
計	8690	2760	31.8

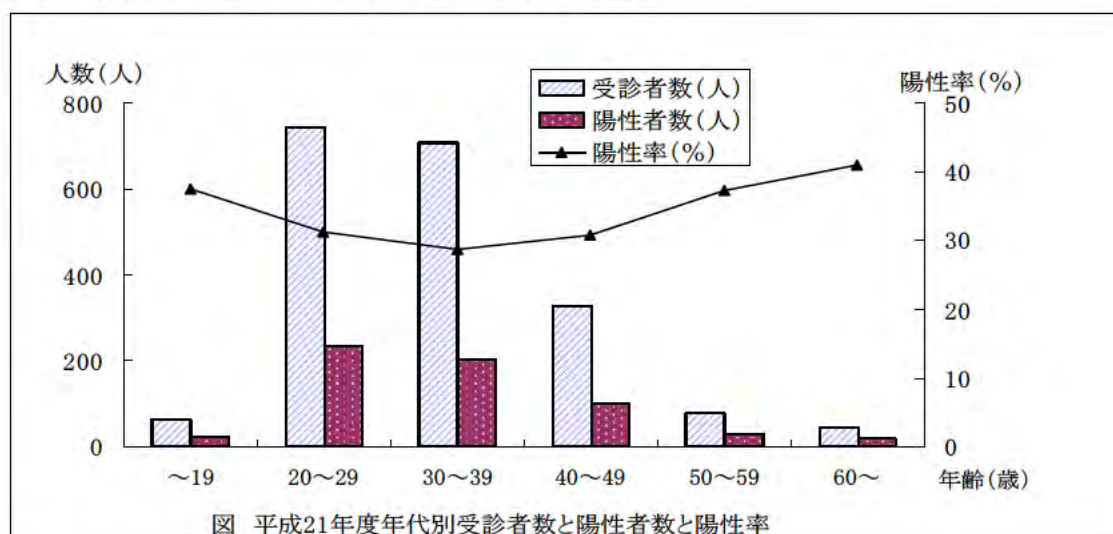
\* IgA、IgGいずれかが(±)以上のものを陽性とししました

平成21年度の男女別受診者数、陽性者数と陽性率を表2に示しました。受診者数は男性が女性の約2倍と多いですが、陽性率は女性のほうが高い傾向にありました。

表2 平成21年度 男女別受診者数と陽性者数と陽性率

	受診者数(人)	陽性者数(人)	陽性率(%)
男性	1257	327	26.0
女性	707	281	39.7
合計	1964	608	31.0

平成21年度の年代別受診者数と陽性者数及び陽性率について以下の図に示しました。20歳代、30歳代の受診者が多く、陽性率は各年代とも30～40%前後でした。



【検査研究課 細菌担当】